

# みはらのたから

三原で輝く若者たち

「チームみんなでつないだ長いラリーの最後を、私のスパイクで決める瞬間がうれしい。やるしかない！という気持ちで臨みます」。その瞬間が、脇村さんがバレーボールに夢中になる理由です。両親の影響でプレーを始め、どんなチャンスも逃さないという気持ちで挑戦してきました。令和6年に開催された全国大会では広島県代表選手に選出され、練習のため週5回広島市へ。チームメイトと支え合いながら取り組んできました。

高校でもバレーを続け、「全力で楽しみたい」と笑顔で話します。めざすは「春高バレー」出場！



チームや家族の力を支えに  
みんなの思いをスパイクに込めて

私が大切にしている  
言葉



バレーに限らず、ダンスもピアノも、自分の可能性を信じて挑戦！

## 第38回全国都道府県対抗 中学バレーボール大会出場

三原市立第三中学校3年  
フェニックス三原所属

脇村 唯花さん

173cmの高身長アタッカー。小4からバレーボールクラブに所属し、小2から始めたダンスとピアノも継続中。



プロ歌手のバックで踊った経験も。ダンスの体の使い方は、バレーにも生かされている。

